北陸三県/大津なみ 縁かいな節

腹に動気(悸)を打浪の、枹ハどん~ドンかいな、 『一時よせ来る大つなミ、逃るも引もあらばこそ、 『も憐れな青森に、岩手・宮城の県かいな、 をいるといるものできない。 『神の蒙る三県ハ、後の世までもはなしだね、 『からまである。」 『神の歌のでは、というでは、 『神の歌のでは、「神のでは、 『神の歌のでは、「神のでは、」 『神の歌のでは、「神のでは、「神のでは、」 『神の歌のでは、「神のでは、「神のでは、」 『神の歌のでは、「神のでは、「神のでは、」 『神のでは、「神のでは、「神のでは、」 『神のでは、「神のでは、「神のでは、」 『神のでは、「神のでは、「神のでは、」「神のでは、「神のでは、「神のでは、」「神のでは、「神のでは、」「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のいいな、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のでは、「神のいいのでは、「神のでは、「神のでは、「はいいいは、「神のでは、「はいいいは、「はいいは、「はいいは、いいは、「はいいは、「はいいは、「はいいは、「はいいは、いは、いは、いは、いは、「はいいは、「はいいは、「はいいは、「はいいは、 「親の譲りの家蔵を、地震の為につぶされて、「北陸の、からないでは、おいか」に親と子がなるも、宿世の縁かいな、「北陸の、つなミ騒ぎハ、なかく―に眼も当られぬ「北やの、つなミ騒ぎハ、なかく―に眼も当られぬ - 先祖代々 伝 りし、宝物・田地おし流し、何所へせんそだだらなく ほうもう でんち な とこ 生この せん と こく まけ こころ きら しっ おは よい しょう きらしつ おは しゃく おは しゃく おは しゃく おは なん 「地震のあとの大つなミ、驚く中へまた火事と、 なんと十方に暮の鐘、これも自然の天さいな、

「万死をのがれて一生を、たすかる漁師の運強く、」はんし、いっとさり、ことで、独りし、からなる。 負傷合せて六万余、実にむざんな事かいな、 

不幸のうちの僥倖ハ、おめぐミ下さる/天かいな、

恵む政府の/救助米、世渡る業も/なく計り、世渡る業も/なく計り、「禁になる」といる。

贈る義えんの/金か/いな、タヒヘ 有志の者が/募集して、